

CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)南林間1丁目計画	階数	地上11F
建設地	神奈川県大和市南林間1丁目3383番2、28、48、78	構造	RC造
用途地域	商業地域、第1種住居地域、防火地域、準防火地域	平均居住人員	140人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年9月 予定	評価の実施日	2018年5月30日
敷地面積	690 m ²	作成者	インターナショナル岩田企画株式会社
建築面積	303 m ²	確認日	2018年5月30日
延床面積	2,843 m ²	確認者	インターナショナル岩田企画株式会社



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.3

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B-: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100%
②建築物の取組み 72%
③上記+②以外のオンサイト手法 72%
④上記+オフサイト手法 72%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Q のスコア = 2.9

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.4

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.8

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.4

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 3.5

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.2

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.8

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.3

3 設計上の配慮事項		
総合	全戸南向き・南面緑地帯を設けることによる、良好な住環境の確保	
その他	-	
Q1 室内環境	住戸の快適性を確保するため、温熱環境(外皮性能)、空気質環境(F☆☆☆☆建材をほぼ全面的に採用(天井・床・壁・天井裏の面積の合計の70%以上の面積)、自然換気窓)の向上に努める。	Q2 サービス性能
Q2 サービス性能	耐用年数の長い設備配管の採用により、建物の長寿命化を図る。	Q3 室外環境(敷地内)
Q3 室外環境(敷地内)	緑地を設けることにより良好な景観を形成する。	LR1 エネルギー
LR1 エネルギー	LED照明器具、潜熱回収型給湯器を採用により、エネルギー削減を図る。	LR2 資源・マテリアル
LR2 資源・マテリアル	ノンフロン(A種)断熱材の採用により、フロン材の使用回避に努める。	LR3 敷地外環境
LR3 敷地外環境	ライフサイクルCO ₂ の排出量を削減するように努める。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される